

神さま、人生の午後は長くなっております。
たとえ年齢とともに
さまざまな力が衰えてしまっても
内面の豊かさを求め続ける人生を与えてください。
どうか、私の生きているかぎり
成熟に向かって、日々成長し続けることができるよう
あなたを見上げていることができますように。
そして、あなたが与えてくださる豊かさによって
私が人々への祝福となることができますように。

郵便はがき

241-8501

お手数ですが
切手をお貼りください

横浜市旭区上川井町846
VOPバイブルスクール行

ご意見、ご感想をお書きください。

く」と記した言葉が残されています。内面の豊かさを追求する人にとって、高齢期は人生の下り坂どころか、成熟に向かって成長し続ける上り坂の毎日となりえるのです。

「ありがとう」の言葉で人生を締めくくるには

『終わりよければすべてよし』というのはシェークスピアの戯曲の一つだそうですが、人生も同じではないでしょうか。どうその人の人生の最後を締めくくるか、人生の集大成の時といつてよいでしょう。石原慎太郎氏もその著『老いてこそ人生』の結びの部分で、「もし死についての何らかの定義、ある確信を持つことが出来ていたら人間は迷うことも恐れることも無いに違いない。だから老いを感じるようになったら、目をそらさずに自分の人生の最終点にまingleもなく在るものについて、それはいったい何なのだろうかと考えてみるがよい」と記しています。

どんなに仲のよい夫婦であっても、人間死ぬときは独りです。聖書は死を創造者のふところに帰る眠りの時にたとえています。詩篇121篇には、「わたしは山にむかって目をあげる。わが助けは、どこから来るであろうか。わが助けは、天と地を造られた主から来る」とあります。最後のとき、見上げ、信じ、自分の魂をゆだねる対象を知っている人は幸いです。その人は生まれてきたこと、それまで生かされてきたことを神と人に感謝しながら眠りにつくことができるでしょう。「ありがとう」の感謝の言葉で、人生を締めくくりたいものです。

人生の午後に豊かに

内面の豊かさを追求する人にとって、
高齢期は人生の下り坂どころか、
成熟に向かって成長し続ける上り坂の毎日となりえるのです。



VOPバイブルスクール

〒241-8501 横浜市旭区上川井町846

メールアドレス: info@vopjapan.net

<https://vopjapan.net/>

聖書の教えがよくわかる

超高齢社会を迎えて

65歳以上の人口が全人口の14%を超えると「高齢社会」といいます。7%を超えると、高齢社会に向かいはじめたということで、これを「高齢化社会」と呼んでいます。

高齢化社会から高齢社会に移るのに何年かかったかということが、その国の高齢化のスピードを表す指標になっています。日本の場合、7%を超え、高齢化社会の仲間入りをしたのが1970年でしたが、その後わずか24年、1994年に高齢社会になりました。ノルウェー、スウェーデンなど北欧諸国は19世紀に高齢化社会になり、80年以上かけて高齢社会になっています。フランスの場合は114年かかりました。ヨーロッパ諸国に比べ、日本が4、5倍の速さで高齢社会に突入したことがわかります。国としての体制も、国民の意識も、それに追いついていないのが現状です。

高齢化のスピードはその後も衰えず、もうしばらくすれば国民の4人に1人が高齢者という時代が来ようとしています。ところが従来の日本人の老年期に対するイメージは大変暗いものでした。若さ（わかさ）にみ価値（みかち）がおかれ、老いる（おいる）ということは、老骨（らうこつ）、老化（らうか）、老弱（らうじやく）、老衰（らうすい）といった言葉（ことば）が表すようにマイナスのイメージでとらえられてきました。老年期は、体力、視力、聴力、脚力、記憶力、経済力、社会的役割（そしゃくてきやく）などがみな衰え、失われていく喪失（そうしつ）の時期（じき）だということです。日本人の4人に1人がこのような意識（いし）で高齢期（こうせいき）を過ごすとしたら、日本の社会全体（しやかいぜんたい）がますます暗（く）くなってしまいうことでしょう。聖書（せいしよ）は「しらがは栄え（かんむり）の冠（かんむり）である」（箴言（しんげん）16章31節、口語訳（こうご））といっていますが、高齢期（こうせいき）のイメージをもっと積極（きじき）的なものに変えていく必要があります。

第2の人生の始まり

昔（むかし）は「人生50年」といわれましたが、戦後（せんご）豊かな社会（しやかい）が訪（た）れ、過去（かこ）半世紀（はんせいき）の間に日本人（にほんじん）の平均（へいきん）寿命（じゆめい）は、30

年以上（ねんじょう）も伸び（のび）ました。60歳（さい）で現役（げんぎく）の人生（じんせい）は終（お）わり、後は付録（ふろく）の余（あま）りの人生（じんせい）（余生（よせい））などという考え（かんが）えは変（か）えられなければなりません。人生（じんせい）80年（ねん）となった現在（げんざい）、60という年齢（ねんれい）は、時間（じかん）やノルマ（norma）にしば（しば）られない、新しい人生（じんせい）のスタート（start）と考える（かんが）べきなのです。

あの大西洋（たいしやうよう）無着陸（むしやくりく）横断（やうたん）飛行（ひやう）で有名なチャールズ・リンドバーク（charles lindbergh）の妻（さい）アン夫人（あんにん）は、50歳（さい）の時にこう記（し）しています。「人生（じんせい）の黎明（れいめい）や、40、あるいは50前（まへ）の壮年期（そうねん）に属（ぞく）する原始的（げんじき）で肉体的（りくてき）な、仕事（しごと）本位（ほんゐ）の生き方（いきかた）はもう中年（ちゅうねん）にはない。しかし人生（じんせい）の午後（ごご）が始（はじ）まるのはそれからで、我々（われわれ）はそれを今（いま）までのもの凄（すば）い速度（そくど）ではなしに、それまでは考（かんが）えてみる暇（ひま）もなかつた知的（てきしき）な、精神的（せいしんてき）な活動（かつどく）に時間（じかん）を割（わ）いて過（すご）すことができる」。

仕事（しごと）や子育て（こども）から解放（かいほう）された人生（じんせい）の午後（ごご）の時間（じかん）はたっぷりあります。老人学（らうじんがく）の専門（せんもん）家（け）であるS・ライチャード博士（はくし）は、人生（じんせい）の午後（ごご）の過（すご）し方を5つの型（かた）に分類（ぶんるい）しました。

これといった目標（もくひょう）も持たず、安楽（あんらく）を楽しむ悠々（ゆうゆう）自適（じてき）型（かた）。しかしそれは受身（うけみ）的（てき）、他人（たにん）まかせ（かせ）の生き方（いきかた）です。防衛（ぼうゑい）型（かた）は、自分（じぶん）の弱（よわ）さを人（ひと）に見（み）せまいとして、老齡（らうれい）に対抗（たいかう）し、衰（お）えに対抗（たいかう）するタイプ（たいぷ）です。憤慨（ふんがい）型（かた）は、防衛（ぼうゑい）型（かた）と同じように老（おい）いを受容（じゆうよう）することができず、思うようにならないいらだち（いらだち）を他人（たにん）にぶつけるタイプ（たいぷ）です。それに対して自己嫌悪（じきけんあく）型（かた）は、不満（ふまん）を他人（たにん）のせいにするかわりに、自分（じぶん）を責（せ）め、こもってしまうタイプ（たいぷ）です。老境（らうきやう）に入る（はい）るに従（したが）って抑うつ（よくうつ）的（てき）になります。

望ましい（のぞましい）のは成熟（せいじく）型（かた）で、自己（じこ）を肯定（きやうてい）し、他人（たにん）を責（せ）めず、過去（かこ）を悔（く）やまず、現在（げんざい）をむだにしないで、積極（きじき）的にできること（こと）に取り組（てき）組（ぐ）もうとします。若い（わかい）うちにしかできない（できない）こと（こと）もありますが、人生（じんせい）経験（けいけん）を重ね（か）ねた高齢（こうせい）者（しや）にしか見（み）えないもの（もの）、できないこと（こと）も少（すく）なくな（な）いのです。肉（にく）体（たい）の力（ちから）は衰（お）えていく（いく）でしょうが、精神（せいしん）はますます豊（とよ）かに円熟（えんじく）していく（いく）ことができます。

聖書（せいしよ）には使徒（しと）パウロ（パウロ）が手紙（てがみ）に「だから、わたし（わたし）たちは落胆（らくたん）しない。た（た）といわたし（わたし）たちの外（ほか）なる人（ひと）は滅（ほろ）びても、内（うち）なる人（ひと）は日（ひ）ごと（ごと）に新（あたら）しくされてい（い）」（裏面（うらめん）へ続（つ）く）

問題1. 老年期をどうとらえればよいのでしょうか。

問題2. 人生の午後は豊かにするのは、どのような過ごし方ですか。

問題3. 人生の最後に知っていると幸いなことは何ですか。

問題4. あなたはどのような人生の午後に送りたいと考えておられますか。

VOPバイブルスクール入門講座・答案用紙

10

黒のペンでいねいにご記入ください。（□の中に印をつけてください）

解答1 ☐ 付録の余りの人生
☐ 喪失の時期
☐ 新しい人生のスタート

解答2 ☐ 目標を持たず、安楽を楽しむ悠々自適型の過ごし方
☐ 自己を肯定し、積極的に生きる成熟型の過ごし方
☐ 自分を責め、こもってしまう自己嫌悪型の過ごし方

解答3 ☐ 子孫に残していく財産の額
☐ 自分の体力、記憶力、経済力などの衰え
☐ 見上げ、信じ、自分の魂をゆだねる対象

解答4

フリガナ
お名前

登録番号

ご住所 〒

TEL

()